２０２２年度　日板協/全板連青年部新規事業　最優秀青年部アワード
長野県板金工業組合青年部事業報告

事業名　：一文字葺き縦継手施工方法について実施・検証
担当役員：関東甲信越ブロック　ブロック長　萩原　武史
県部長　：長野県板金工業組合青年部　部長　久保田　春紀
実行者　：中信担当理事　本間　良祐
　　松本支部長　　宮澤　勝
文書作成：北信担当理事　小嶋　浩明

【事業に至る背景】

はじめに我々青年部は長野県板金組合綱領の一文にある「信頼と協調で組合員の団結を促進させ国家と地域社会の発展に貢献しよう」並びに「未来を展望し常に研鑽を重ね技術の改革と発展を推し進めよう」また「組合員相互の交流を深め、組合員の幸せと経営の健全強化に努めよう」を旨に青年団体として運動･活動をしている。これまで活発であった事業は、一昨年から猛威を振うCOVID１９により、理事会で協議し、縮小や中止の決断となる。2022年１月、今年度こそ全体的な事業を「やるぞ、先ずは総会で」と執行部で意気込むも総会自体が書面議決へ縮小開催となった。5月にはCOVID19は落ち着き、祈る気持ちで恒例の「スポーツ大会」と「講習会」の計画を進める。「講習会」については最優秀アワードにエントリーしてみてはとの理事会意見から合わせて実施する事となる。

本事業内容について、部員のアンケートから「一文字葺きの継手」について幾つか検証する事となった。長野県でも一文字葺きについては何十m有ろうが一枚で葺くのが美徳とされ、継手を設ける事に後ろめたさを感じながらもどんな方法が良いか現場毎（勾配、積雪量）決めるが、不安を残しての施工となる。この講習会で施工し、考察し、検証し、改善して技術向上をして頂けるだろうと確信し本事業実施に至る。また、状況に応じ昼食会を開催し部員相互の交流を深めたい。

【事業目的】

・covit19感染対策の上、縮小しない青年部全体事業の実施
・一文字葺き継手技術の向上と共有
・部員相互の交流を深める

【事業概要】

１．　実　施　日　時　２０２２年１０月２日（日）９：００～１２：００
２．　実　施　会　場　セキノ興産松本営業所　長野県松本市笹賀5652-242
３．　参加員数結果報告　対象部員５４名　参加２８名　５２％　全員資料共有

４．　実施タイムテーブル

9：00　集合
9；30　開会式・趣旨説明
10：00　施工・納め方検証・放水
11：30　グループ発表
12：00　片付け・まとめ・閉会式
12：30　解散

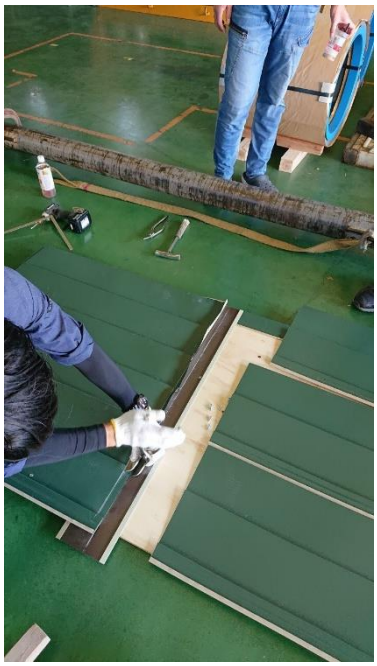
５．　事業詳細

開会式

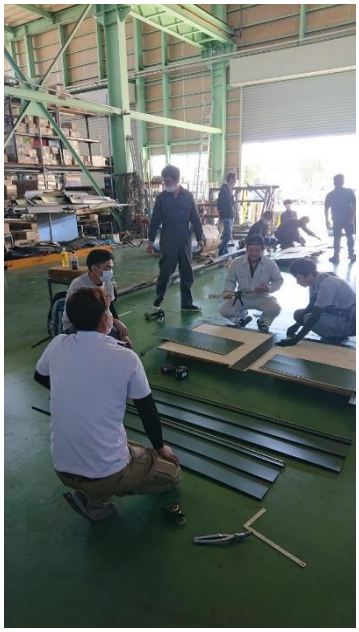
・部長挨拶
・感染対策説明　・趣旨説明
・タイムテーブル確認
・3 方式の継手をグループごと協力し進める
・各方式でグループごと創意工夫し積極的に知恵や技術を出し合い行なう事
・使用材料：一文字ＡＴ2 段ｔ=0.35㎜、3×6 尺針葉樹構造用 12ｍｍ合板、唐草、ＹＦビス 18ｍｍ、シリコンシーラント

各グループ施工状況

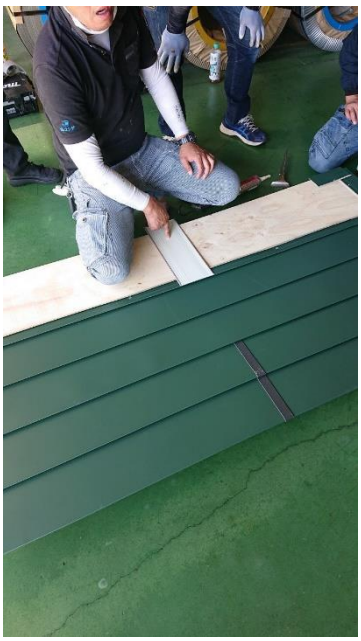
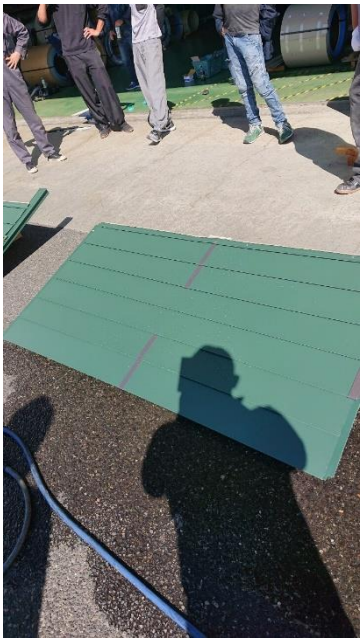
Ａグループ・捨て板　ハゼ組



Ｂグループ・捨て板　千鳥重ね（下ハゼ・上切りっぱなし）



Ｃグループ・捨て板　千鳥キャップ（アヤメ部シール入れ）

放水

放水後、各々3 方式を見学し雨漏り予想や技術面を考察した後、各グループ長が施工方式と所見を発表し、雨漏りが無いか屋根の解体をして、結果を見る。

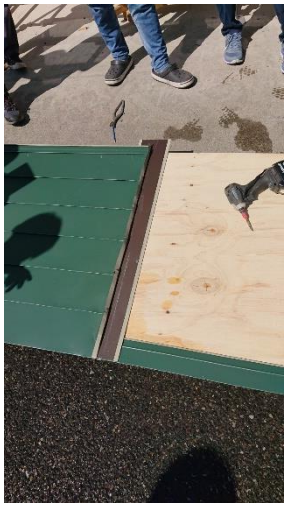
Ａグループ発表

1. 墨出、2. 捨て板設置、3. 下ハゼ側屋根葺き、4. 下ハゼ折り、5. 上ハゼ側屋根葺き、6. 上ハゼ折り、7. 掴み直し

グループ長所見

捨て板を入れてハゼ組なので間違い無いと予想する。施工性も継手を作る前に葺けるので良い。多くの方がやられているはずなので比較的安心。

結果：漏水無



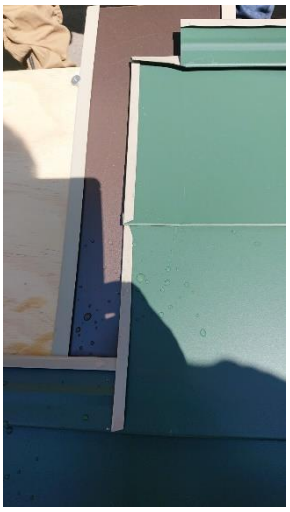
Ｂグループ発表

1. 墨出、2. 捨て板入れ、3. 下ハゼ側折り・屋根葺き、4. 上ハゼ側葺き、5. 2 段目葺き、6. 3 から繰り返し

グループ長所見

一文字をシールもせず重ねるお題でしたが、見えないところで少しでも雨漏りしないよう返しを入れた、確実に雨漏りしそうなだけに誰もやったことが無い施工方法で心配。

結果：捨て板に水滴がついている。



Ｃグループ発表

1. 墨出、2. 1 段目捨て板及びアヤメ部シール入 3. 左右継手側へキャップ下地設置、4. 1 段目葺き、5. 1 段目キャップ差し込み、6. 2 段目屋根葺き、7. 2 から繰り返し

グループ長所見

慣れない施工方法で、左右にキャップ下地を入れる事や、アヤメ部にシールを入れるときに表裏反転しないといけないので施工に時間が掛かる。ただ、3 方式の中では美観的に仕上がりは良い。

結果：雨漏りは無い。

片付け　解体、分別、積込み、掃除の作業が全員協力で大変速やかだった。

閉会式

・部長挨拶　まとめ　「どのやり方が一番か知って頂く事が重要だったが、今回はこのやり方ならどうするかと、意外に意見が活発で大変良かった。」　　・セキノ興産松本営業所様へ御礼　・解散

【目的達成の検証】

再びcovid19が猛威を振るう中、半数以上の部員が当日参加して頂き事業を実施、マスク着用、作業中の私語を控える事、施工提案や指示は一定の距離を保ち発声するなど感染防止に務めた上で、各グループ積極的に意見を出し合い課題に取り組んでいた。また、放水試験後のグループ発表では、真面目な青年部員の姿としてだけでなくプロとして真剣に聞き入っていた。一文字継手の施工性や耐水性能を本事業で検証できた事は多くの参加者が継手技術を向上したと確信する。この資料を長野県に限らず最優秀青年部アワードに提出し、全国の青年部員に知って頂けることを以て、本事業の目的達成とする。

【実施上の問題点】

感染拡大防止の観点から更なる部員相互交流に発展しづらい。

本来なら大勢の参加する昼食会等を開催し、懇親を深めたいところだったが、状況により大勢での昼食会は敬遠され少数となった。

【次回への引き継ぎ】

過去にも様々な講習会事業を開催してきたが、主に参加者だけの技術向上となっていた。今回のように参加者だけで無く全国の仲間に資料を共有する事は良い。最優秀青年部アワードが次年度以降も開催されるのであれば、積極的にエントリーして資料を全国の仲間へ共有して頂きたい。

【部長所見】久保田春紀

はじめに、日曜日に会場を無償提供してくださったセキノ興産松本営業所様、本当にありがとうございました。また、コロナが再燃する中、休日にもかかわらず多くの部員に集まって頂きありがとうございました。

今回は、板金技術に特化した講習会でした。様々な意見や知らないやり方を見聞でき私自身も大変勉強になりました。やはり本業に関する事は、皆さんも積極的に受講されていて多くの学びを得られたと確信します。